

# きぎぎよう通信

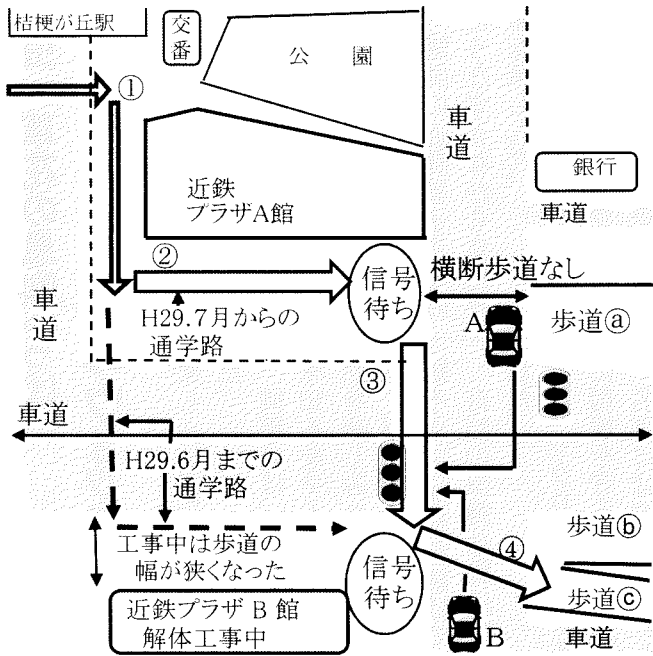
2017年8月(平成29年)

発行 桔梗が丘自治連合協議会  
 連絡先 桔梗が丘市民センター  
 TEL 65-1206  
 FAX 65-1206  
 Ex-ル info@kikyogaoka.jp  
 5,717世帯・13,832人  
 (2017年7月1日現在)

## 400人児童の通学路が不安 自治連合協議会らが市に対策要望

今、近鉄プラザB館の解体工事に伴って、子どもたちの通学路の安全が保てない事態になっている。「今日も無事に帰ってくるだろうか」と心配する保護者の声が聞こえてくる。

近鉄プラザB館の解体工事が6月1日から始まっている。桔梗が丘西地区から約400人の児童が市立桔梗が丘小学校に通学している。桔梗が丘駅と近鉄プラザA館の歩道を



経て、横断歩道を渡りB館の店舗前を通り学校に向かっていった(左図H29・6月までの通学路参照)。

工事が始まるとB館前の歩道の幅が狭くなり、児童らは身体を接触しながら歩いていった。横断歩道には、歩行者用の信号機が無く、渡るのを指導するボランティアの方の進め、止まれ掛け声が、児童らを交通事故から守ってきた。

工事の始まる前の5月26日、桔梗が丘自治連合協議会、桔梗が丘小学校、同校PTAらの団体が名張市長あてに「近鉄プラザB館取り壊し工事に伴う歩道の安全確保について」の要望書を提出。即答は得られなかった。

6月17日に要望書を提出した団体と横断歩道の歩行を指導しているスタッフらが、児童の下校時の状況を検証した結果、B館店舗前の歩行を早急に回避し、B館に面するA館前を通る経路(左図①～④)に変更し7月3日から通学している。しかし不安は残っている。歩行者専用の信号機の設置、横断歩行の路面標示、B館北東の児童の溜まり場がトラックの出入り口など課題は未解決だ。早急の対策を住民は願っている。

## 17人が炎天下で放水訓練

桔梗が丘自治連合協議会・生活安全部会は、地域住民の希望者を募り、7月17日、名張消防署で「消火栓を使った放水訓練を実施した。

消火栓ホース格納箱は、名張市の自主防災組織育成事業に基づき平成21年から地区内に設置を続け、現在8個所に至っている。平成29年度は4個所に設置する計画で、桔梗が丘では、住民に周知徹底でききる公園に設置されている

木造家屋の火災は、出火から20分で全焼に至るといわれている。ホース格納箱は災害時、自主防災隊と消防団が連携して格納箱からホースを出し1秒でも早く消火活動を行うのが目的。



結合要領、使用後のホース巻き方など基本を学んだ。続いての放水訓練では、17人の受講者が汗だくで取り組んでいた。

## 11月19日(日)

### 平成29年度桔梗が丘

#### ほつとまちフェスタ

催しもの健康まつり、こども遊び広場、植樹祭、甘酒ふるまい、輪投げ、ダーツ、豚汁、焼きそば、綿菓子、ポップコーン、焼き芋、歌声喫茶、収穫祭、金魚焼き、桔梗丘高校43年の写真展、足湯、手裏剣投げ

## 桔梗が丘公開連続講座

### 9月2日(土)

#### 囲碁と将棋の例から

#### 人工知能(AI)を考える

公立はこだて未来大学教授

松原 仁氏

### 11月18日(土)

#### コンピュータが小説を書く日

#### A-1作家に賞は取れるか?

名古屋大学大学院教授

佐藤理史氏

### 1月28日(日)

#### 人工知能(AI)と医療

#### 医用画像による

#### 人体の総理解

奈良先端科学技術

大学院大学教授

佐藤嘉伸氏

